

森記念財団都市戦略研究所：連続シンポジウム 第7回

都市の魅力

持続可能で魅力的な国土形成を目指して

参加費 **無料**
定員 **90名**

要申込、先着順

日時

3月5日(水)

13:00-15:00 (12:30開場)

会場

**公益財団法人堺市産業振興センター
セミナー室5**

<https://www.sakai-ipc.jp/about/access.html>
御堂筋線「なかもず駅」8番出口・南海高野線「中百舌鳥駅」北出口より徒歩約4分



なるべく公共交通機関でご来館ください。

● 登壇者



明治大学 名誉教授
市川 宏雄



大阪公立大学大学院
工学研究科都市系専攻 教授
嘉名 光市



大阪ガスネットワーク株式会社
エネルギー・文化研究所 特任研究員
弘本 由香里

参加申し込み ▶

[https://forms.gle/
7HixoMayMLZDLzhF8](https://forms.gle/7HixoMayMLZDLzhF8)



お問い合わせ ▶

iusall@mori-m-foundation.or.jp

主催：森記念財団 都市戦略研究所

● 趣旨・目的

世界の総人口が今後も増加を続けていくと予測されている一方、日本では少子高齢化および急速な人口減少が見込まれている。そのような状況に直面してもなお、日本全体が活力を保ち続けるためには、各都市がそれぞれの「特性」を活かしながら都市づくりを進め、人や企業を惹きつける「磁力」と、魅力や強みを継続的に発揮し続ける「発展性」を維持していかなければならない。そのためには、各都市が現在の都市の魅力や、歴史的・文化的・地理的なコンテキストも含め

て客観的に把握した上で、次の時代に向けた都市戦略を立案し、実行にしていくことが求められる。

そこで、当連続シンポジウムの第7回は、交通・アクセスで評価が高い堺市が、今後どれだけ総合力を高めていけるのか、どのような都市戦略で堺市のみならず大阪都市圏全体、ひいては、日本全体に活力をもたらしていくべきなのかに ついて、堺市で活躍されている都市の専門家とともに様々な側面から議論する。

● スケジュール

🕒 13:00-13:30

市川 宏雄

「日本の都市特性評価 2024」
によって明らかになった堺市
の魅力と課題

🕒 13:30-14:00

嘉名光市・弘本 由香里

堺市の魅力と課題、過去・現
在・未来を見据えて魅力を伸
ばすための施策は何か

🕒 14:00-14:45

パネルディスカッション

課題を解決するためにすべき
ことは何か、各アクターの
役割とは

🕒 14:45-15:00

質疑応答

● 登壇者略歴

市川 宏雄

明治大学名誉教授

東京の本郷に1947年に生まれ育つ。都立小石川高校、早稲田大学理工学部建築学科、同大学院修士課程、博士課程(都市計画)を経て、カナダ政府留学生として、カナダ都市計画の権威であるウォータールー大学大学院博士課程(都市地域計画)を修了(Ph.D.)。一級建築士でもある。ODAのシンクタンク(財)国際開発センターなどを経て、富士総合研究所(現、みずほリサーチ&テクノロジーズ)主席研究員の後、1997年に明治大学政治経済学部教授(都市政策)。都市工学出身でありながら、政治学科で都市政策の講座を担当するという、日本では数少ない学際分野の実践者。2004年から明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科長、ならびにこの間に明治大学専門職大学院長、明治大学危機管理研究センター所長を歴任。

現在は、日本危機管理防災学会・会長、日本テレワーク学会・会長、大都市政策研究機構・理事長、日本危機管理士機構・理事長、森記念財団都市戦略研究所・業務理事、町田市・未来づくり研究所長、Steering Board Member of Future of Urban Development and Services Committee, World Economic Forum(ダボス会議)in Switzerlandなど、要職多数。

嘉名 光市

大阪公立大学大学院工学研究科都市系専攻教授

1968年大阪生まれ。2001年東京工業大学大学院博士後期課程修了。博士(工学)。技術士(都市及び地方計画)、一級建築士。シンクタンク研究員を経て、2003年大阪市立大学講師、2017年4月より教授。2022年4月から大阪公立大学教授。専門は都市計画、都市デザイン、景観デザイン、エリアマネジメント。主に京阪神を中心とした都市計画や都市再生デザインの実践的取り組みに関わる。代表的な取り組みとして、水都大阪の再生、御堂筋空間再編、神戸市都心・三宮の再整備、枚方市駅周辺まちづくり、堺市中百舌鳥周辺まちづくりなど。

国土交通省「多様なニーズに応える道路空間」のあり方に関する検討会委員、大阪市都市計画審議会会長、堺市都市計画審議会会長、神戸市都市計画審議会会長ほか多数。著書に「生きた景観マネジメント」(鹿島出版会)(編著)、『景観計画の実践』(森北出版)(共著)、『都市を変える水辺アクション:実践ガイド』(学芸出版社)(編著)ほか。主な受賞に、日本都市計画学会石川賞(共同受賞)(2023年、2015年)『水都大阪のまちづくり』(共同受賞)、2017年日本建築学会賞(業績)『大阪市「生きた建築ミュージアム事業」による建築文化の振興』(共同受賞)。

弘本 由香里

大阪ガスネットワーク株式会社 エネルギー・文化研究所特任研究員

筑波大学芸術専門学群卒業。住宅建築専門誌『新住宅』編集員などを経て現職。大阪くらしの今昔館を併設した大阪市立住まい情報センターの開設・運営に関わるなど、京阪神を中心に持続可能な都市居住を支えるための、協働型の学びの場づくりや情報発信に取り組んできた。また、大阪・上町台地をフィールドに、コミュニティ・デザイン研究の一環で、地域資源の活用とソーシャル・キャピタルの醸成を目指す歴史・文化的実践を重ねてきた。

自治体の住宅施策、コミュニティ政策、文化政策等への関わりが多く、大阪市文化財保護審議会委員、堺市都市計画審議会委員、堺市住宅まちづくり審議会委員等のほか、大阪府男女共同参画推進財団理事、神戸住環境整備公社理事等も務めている。

共著に『大阪 新・長屋暮らしのすすめ』(2003年、創元社)、共編著に『地域を活かすつながりのデザイン—大阪・上町台地の現場から』(2009年、創元社)、『コミュニティ・デザイン新論』(2024年、さいはて社)など。